



海上保安制度創設70周年

問い合わせ先
海洋情報部監理課長 渡邊 康顕
電話 093-321-2931 (内線 2510)



第七管区海上保安本部
平成30年8月7日

第147回「水路記念日」について ～伊能忠敬翁没後200年と海図の誕生～

明治4年(1871年)9月12日、兵部省海軍部に水路局が設置されました。この日が我が国における水路業務の創始日とされ、水路記念日としています。今年で147回目の記念日を迎えます。

第七管区海上保安本部では、水路記念日に当たって、一般市民の方々へ海洋情報業務に関する理解を一層深めていただくため、パネル展を開催します。

今年、伊能忠敬翁没後200年及び明治150年にあたり、九州北部海域の伊能図及び明治時代に刊行した海図を展示いたします。

1. 展示期間 8月14日(火)～9月17日(月) 午前9時～午後6時
※休館日 8月23日(木)、9月13日(木)
2. 展示場所 関門海峡らいぶ館のフロア一内(下図参照)
北九州市門司区西海岸1-6-2 (旧三井物産ビル1階)
3. 臨時海の相談室 8月22日(水) 午前10時～午後5時
4. 展示内容
 - 伊能図中図九州北部(関門港、博多港)
 - 伊能図(関門港、博多港、壱岐、対馬、五島、別府港等)
 - 日本における海図作成の変遷
 - 明治初期の海図
 - 日本海図の第1号「陸中国釜石港之図」
 - 九州北部の明治時代刊行海図(関門港、博多港、長崎港等) など



※伊能忠敬(1745～1818)



背景図:海上保安庁(C)ESRI Japan

5. その他

取材の申込につきましては、上記問い合わせ先までご連絡ください。

水路記念日とは

旧暦の明治2年（1869年）8月に兵部省が設置され、さらに明治4年（1871年）7月28日、兵部省が海軍部と陸軍部に分けられました。このとき、海軍部に水路局が設置され、ここに当時のわが国の緊急課題であった日本沿岸の航行船舶の安全を守るための海図作製を使命とした組織が発足しました。

水路部（局）設立後、昭和16年（1941年）の創立70年を機に、毎年7月28日を水路記念の創立の日として制定しました。そして、昭和46年（1971年）の創立100年の際に、旧暦（太陰暦）から太陽暦に換算し、9月12日を創立の日とし、以後、この日を「水路記念日」としています。

水路部（局）が設置された当時は、勝海舟らとともに長崎海軍伝習所において、西洋の進んだ航海術・測量術を学んだ津藩出身の柳権悦（やなぎ ならよし）少佐〔初代水路部長〕を中心として、東京築地の海軍兵学寮（後の兵学校）の一室で現在の海洋情報業務（水路業務）の基礎がスタートし、日本人による近代的な海図作りが精力的に開始されました。



※海洋情報部の歴史

明治4年（1871年）兵部省海軍部水路局

明治5年（1872年）海軍省水路局

明治19年（1886年）海軍水路部

昭和20年（1945年）運輸省水路部

昭和23年（1948年）海上保安庁水路局

昭和24年（1949年）海上保安庁水路部

平成14年（2002年）海上保安庁海洋情報部